



創誠健和



旭川中学校 学校通信 1月号

本年もよろしくお願いいたします！

令和5年 1月27日発行

新年に入り面接練習が本格化

令和5年がスタートしてあっという間に一月が過ぎようとしています。本年もよろしくお願いいたします。皆様にとって本年が素敵な、豊かな、笑顔あふれる年になりますよう、心からお祈り申し上げます。



さて、日本には節目を大切にす文化があり、私も出来る限り、我が家に伝わる伝統を大切にしようと心がけています。大晦日には、お蕎麦を食べて、元旦には神社に参拝しました。お屠蘇にお節料理、互いに手をついて挨拶を交わし、抱負を伝え合う習慣も大切にしています。この元旦の挨拶が私にとって、一年で最初の挨拶となります。

私は立場上、これまでに、面接官を務めたり、面接練習のお手伝いをしたりする、多くの機会を得てきました。長い答え、短い答え。普段聞き慣れた言葉でも、その人の経験や体験に基づいたものであればあるほど心に染み渡ります。逆にどんな崇高な難しい単語を並べても、どこかの本から借りてきたような話は、ほとんど印象に残らないばかりか、話が早く終わることを期待するように考えてしまうのは私ばかりでしょうか。

私立高等学校の推薦から、いよいよ入試がスタートしました。校長室での面接練習も本格的にスタートしています。私が生徒に伝えるのは、うまく話したいと思わず、自分の経験や体験から自然に発する言葉で語ることの大切さ、そのためには、これまでの経験を自信に変えることです。

未来に向かってチャレンジする生徒たちに、保護者はもとより、あさひやま地域の皆様と共に、今年も心から最大限のエールを贈りたいと思います。

令和4年度の締めくくりに



人生には、振り返ってみると、節目や転機、忘れがたい場面があります。

それは、人との出会い、交流、別れを軸に展開するものです。

そして、そこにはいつも「言葉」が介在していると感じています。その「言葉」は不思議なもので、同じ言葉でも、語った相手、聞く人によってその意味合いが違ってきます。「言葉」が交わされた場面、受け手の心理状態いかんで響きが変わってきます。聴き流した「言葉」であっても、環境や立場が変わる節目にあざやかによみがえって、胸を打つこともあります。忘れられない「言葉」が、それを聴いたときの情景と一体となっているように、心に染み通った「言葉」には、人と場面がついて回るものです。

進級や進学、別れを迎える時、さりげない一言の重みが増します。ふとした会話がもたらす覚醒。相手を思いやる心情の余韻。「言葉」は人をつなぎ、ひたむきな人間関係が「言葉」に生命を与えていることがわかります。令和4年度の締めくくりにあたって、今一度、日常的に互いに交わす何気ない「言葉」も大切にしながら、世界一の優しい学校に近づけたらと思っています。



旭中生の皆さん！

貴方はどこを見ますか？

あっという間に1月が終わってしまったように感じます。生徒の皆さんはいかがでしょうか。「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われます。それだけ早く過ぎてしまうと感じるということです。この後、学校に登校する日を数えると、1,2年生で「38日」、3年生は、入試なども登校日とカウントしても「32日」しかありません。この1年間の締めくくりであるとともに、次の学年に向けての大事な時期でもあります。この締めくくりの学期、もう一歩前進して、「旭中オリジナルブランド=旭中WAY」をつくってください。

3年生の皆さんは、団体戦としての受検にクラス全体で挑戦し、乗り越えていってください。クラスの団結力の見せ所だと思います。日数は少ないですが、次へのステップのための充実した生活を送りましょう。

『ウサギとカメの法則』

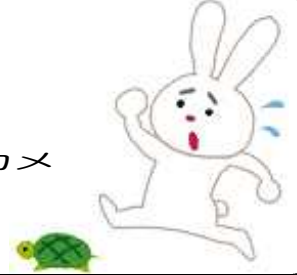
ウサギが負けてカメが勝った。

勝敗はスタート前から決まっていた。

相手を見ていたウサギVS自分の決めた目標を見ていたカメ

見ているところの違いが、勝敗を決めた。

あなたは今、どこを見えていますか？



生徒たちの挑戦に目が離せない！

この冬も旭中生が躍動

北海道中学校選抜卓球大会 男子団体の部 優勝



12月27日と28日、北ガスアリーナ札幌で開催された「道新杯北海道中学校選抜卓球大会」において、男子卓球部が見事に全道優勝しました。3月下旬に宮城県利府町で開催される全国大会に北海道の代表として出場します。また、1月5日に札幌きたえーるで開催された北海道中学生インドアソフトテニス選手権大会に、2年生の加藤颯太・小野寺蓮ペアが出演。1月15日に第59回北海道管楽器個人コンテスト/第54回北海道アンサンブルコンテスト旭川地区予選会では、2年生の坂東進桂さんが金賞、金管七重奏でも金賞を受賞しました。アンサンブルについては2月18日(土)札幌市で開催される全道大会に出場します。さらに、第55回北海道中学校スキー大会アルペン競技が1月20日～22日、小樽市の朝里川温泉スキー場で行われ、2年生の相澤花音さんが回転と大回転に出場しました。今年も生徒たちの挑戦、活躍から目が離せません。

インフルエンザに注意!



旭川市内でもインフルエンザの罹患者が増えており、今後もさらに感染が拡大していくことが予想されています。また、「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大防止についても、これまでもお知らせしてきており、「手洗い」や「日頃の健康管理」、「適度な湿度を保つこと」や「換気」など、ご家庭における引き続きの感染対策もお願いします。

なお、インフルエンザと病院で診断された場合は、速やかに学校への連絡をお願いします。対応としては出席停止の扱いとなります。この場合、診断された翌日から5日間。さらに、解熱後2日間を出席停止とします。体調が改善しても、この日数は自宅での療養となります。我慢は禁物です。体調の変化等を感じたら、まずは病院での受診などの対応をお願いします。